

2012 年度公募制推薦入学試験の変更点と出題方針について

本学の公募制推薦入学試験では、筆記試験・面接・書類審査による選抜をおこなっています。

公募制推薦入学試験の筆記試験は、従来「小論文（学科選考適性検査を含む）」でしたが、「小論文（基礎学力問題を含む）」とし、試験内容をより明確化しました（難易度に大きな変更はありません）。この試験科目は、論述を通じて受験生それぞれの個性的な能力を汲みとるとともに、志望学科で学んでいける基礎学力を確認するものとなっています。出題方針は、以下の通りです。

概要

■ 英語英文学科・日本語日本文学科

英語英文学科では英語の基礎学力、日本語日本文学科では国語の基礎学力をはかる問題と、小論文による論理的表現力をはかる問題（**学科独自問題**）を出題します。

※全体の難易度は、2011 年度公募制推薦入学試験と同程度です。

■ 現代社会学科・人間生活学科・児童学科・食品栄養学科

国語・英語の基礎力を問う問題（**共通基礎問題**）と、小論文による論理的表現力をはかる問題（**学科独自問題**）を出題します。

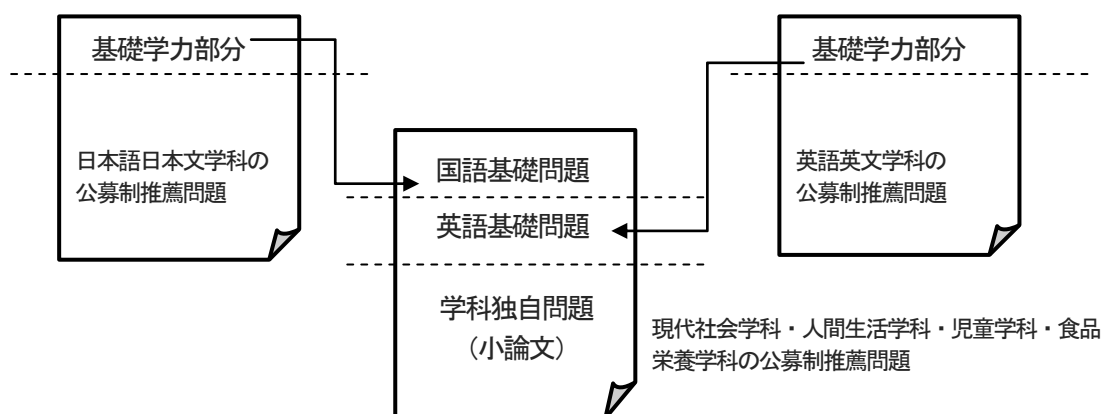
▶ 共通基礎問題

国語 現代文の要約を主とする問題により、基本的な語彙力・読解力をはかります。

英語 短文の空欄補充問題により、基本的な語彙力と文法の理解をはかります。

これらの問題は、日本語日本文学科・英語英文学科の問題の一部と共通です。

具体例としては、2011 年度公募制推薦入学試験における、日本語日本文学科の第 1 問のうちの問 1・問 2 および英語英文学科の第 2 問に相当します。



▶ なお、学科によっては基礎学力問題が追加される場合もあります。

各学科の出題方針について

英語英文学科

- 高等学校で学ぶ英語の基礎力とともに、英語での論理的表現力をはかる問題を出題します。

(学科独自問題)

英語の基礎的な文法的知識、語彙力、読解力、英文構築力に加えて、さまざまな問題について自分の意見を持ち、それを論理的に英語で表現する力をはかります。

日本語日本文学科

- 古文と現代文を読解する基礎力とともに、小論文による論理的表現力をはかる問題を出題します。

(学科独自問題)

古文と現代文について、基本的な言語や文脈を理解する基礎力をはかります。さらに、本文の要約およびその内容に関する小論文により、論理的な思考力と、それを自分の言葉で表現できる力をはかります。

現代社会学科

- 国語・英語の基礎力とともに、小論文による論理的表現力をはかる問題を出題します。

(学科独自問題)

小論文では、読解力と文章構成力とともに、高校での地歴・公民の基礎力や、社会の諸事情に対する洞察力をはかります。

人間生活学科

- 国語・英語の基礎力とともに、小論文による論理的表現力をはかる問題を出題します。

(学科独自問題)

小論文では、時事問題への関心や、情報を客観的に分析して独自の考えを持ち、論理的に表現する力をはかります。

児童学科

- 国語・英語の基礎力とともに、小論文による論理的表現力をはかる問題を出題します。

(学科独自問題)

小論文では、文章や資料の読解力とともに、多面的で柔軟な考え方、幅広い社会問題への関心や、自分の考えを論理的に組み立て、表現する力をはかります。

食品栄養学科

- 国語・英語の基礎力とともに、小論文による論理的表現力をはかる問題を出題します。

(学科独自問題)

小論文では、現代社会の諸問題に関する文章や資料を客観的に読み取り、自分の考えを論理的に表現する力をはかります。